

下田小だより

平成30年 12月20日 号
文責 久留米市立下田小学校
校長 平塚 宏子

4ヶ月にわたる長丁場の2学期も、明日で終業式を迎えます。この4ヶ月を振り返ってみますと、5年生の自然体験教室から始まり、運動会、陸上記録会、祖父母学級、土曜参観（学習発表会・収穫祭）、筑後地区合唱祭、持久走記録会など、いろいろな行事がありました。子どもたちは、行事の度に大きく成長する姿を見せ、私たちに感動やエネルギーを与えてくれました。子ども達をいつも温かく見守って下さる地域の方々、熱心に学校教育に協力して下さる保護者の皆様に、心から感謝いたします。



2日（日）のリサイクル活動も、早朝よりご協力いただきました。「年に2回でなく、冬場はなくて1回にしては？」という声もちらっと上がりましたが、資源物回収の収益や市からの補助金が、子どもたちに還元されることを考えると、「やはり、続けましょう。」という事になりました。手際よく回収していただく役員・保護者の皆様と共に、子どもたちもよく働いてくれました。地域の皆様、ご協力ありがとうございました。



「筑後地区音楽祭（合唱の部）」、2回目の出場！

7日（金）に、「筑後地区音楽祭（合唱の部）」がありました。昨年度に引き続き、2回目の出場です。2年生以上は、昨年度の経験から見通しを持つことができ、少し余裕があるように見えました。本番では、練習の成果を発揮し、41名の全校児童が心をひとつに揃え、美しい歌声を約千人の観客の前で披露しました。春花さんのピアノ伴奏も、とても光っていました。

「変わらないもの」
「世界がひとつになるまで」

第56回 筑後地区小学校音楽祭(合唱の部)



【下津浦先生・富久先生の指揮、轟木春花さんらのピアノで、合唱を披露する41人の下田っ子】

下田小の子ども達にとって、小学生時代の豊かな経験のひとつになったなら幸いです。審査の先生方からも、「1年から6年まで心をひとつにして取り組んだ合唱、とても心温まる素晴らしい合唱でした。一人ひとりの歌う姿に感動を頂きました。」「昨年より、さらに伸びてきて上手になりましたね。子どもらしくて、可愛くて…、歌う姿を見ていると、いとおしくなります。心を合わせる姿に、涙が出そうです。」など、高い評価をいただきました。

【1月の主な行事予定】

8（火） 始業式（11:30 下校予定）	23（水） 保護者説明会① 学習参観②
9（水）～10（木） 発育測定	成人教育講座③④
11（金） スクールカウンセラー来校	24（木） 5年生社会見学
15（火）～スローメディアウィーク	25（金） 6年生社会見学
17（木） 地震避難訓練 誕生給食	28（月） 城島中学校新入生説明会
	31（木） 4年生「民謡にトライ」事業

保護者の皆様には、毎日の健康管理やチェックなど、ありがとうございました。



【低学年のひたむきな走り（左）・中学年の軽快な走り（中）・高学年のたくましい走り（右）】

人権意識を高めていこう！

12月4日から10日までは人権週間でした。「人権」というのは、「だれもが生まれながらに持っている、人として幸せに生きていく権利」です。だれの人権も大切にされ、だれからも脅かされてはならないものです。

平成28年4月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」、6月に「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」、12月に「部落差別の解消の推進に関する法律」という差別を解消するための3つの法律が施行されました。一人ひとりが人権問題を正しく理解し、不当な差別をなくし、人権が尊重される、明るく住みよい社会を築きたいものです。

下田小学校では、最近、考えさせられることがありました。それは、子ども達が、「軍艦ジャンケン」なる遊びをしていることがわかったのです。二人が向かい合い、外国の国名や地名を言い、ジャンケンによる勝ち負けで手遊びをするものでした。このことについて、教職員でも話し合い、全校集会で、校長・教頭・主幹教諭から話をし、各学級でも担任から学級指導をしました。子ども達は、「せーんそっ。」という始めの掛け声は、「戦争」と結びついていること、外国の国名や地名を言って差別的な遊びをしていたこと、この遊びが当事者の人には深い傷付きや悲しみを感じさせること等について、しっかりと考えました。知らないことや当事者の気持ちを考えないことで、人を傷つけたり悲しませたりすることや、「知る」こと、「考える」ことの大切さに気づけたようです。

私たち下田小の教職員も、自分たちの人権感覚や人権認識をもっと磨いていく必要があると考えます。差別やいじめにつながる言動には、教職員自身が立ち止まり見過ごさないようにしなければいけません。安全・安心で笑顔あふれる学校を目指すことは、周りの人みんなの人権が尊重されてこそできることだからです。

「自分を大切にする。」「自分の言動を振り返り、周りの人を大切にする。」「お互いの違いを認め合う。」ということを、私たち大人も子どもたちの手本となるよう、自分の言動を振り返りたいものです。ご家庭でも、子どもたちに人権を大切にするとはどんなことかを、折にふれて一緒に考えたり、具体的な言動で教えたりして下さいますようお願いいたします。

学校と地域と家庭と一緒に連携して、「人権感覚豊かな下田っ子」に育てていきましょう。

